



さらに現場では、チャレンジできるならば色々なことを考えていきたいと、いちごの他にもねぎやにんにく、スナップエンドウ、ナスなどの野菜も定植予定です。

特に、去年皆様にご講評いただいたトマトは色々な種類をご用意して、道の駅での販売を予定していますので楽しみに！



産業課商工観光係の山口です。猿払村役場で夏いちごプロジェクトの構想が立ち上がってから、早いもので9年が経ちました。夏いちごの事について大々的に広報紙にてご報告するのは久しぶりです。

このプロジェクトでは、夏いちご栽培についての調査研究以外にも、村民の皆様へ「なぜ猿払村で夏いちごを作るのか、それによってどんなことをしたいのか」を理解してもらうため、体験型の様々な企画を立ち上げて活動を行ってきました。ご参加いただいた方からご好評や応援の声をいただき、現場で働く人たちの原動力となりました。そんなPR活動をコツコツと続けてきましたが、令和7年度で村の

調査研究が終了することを受けて、事業を引き継ぐ村内企業を公募しました。うれしいことに色々な方とご縁が繋がり、つい先月無事に事業の引継ぎが行われ、さらには引継ぎ先の企業で新しくいちごの会社が立ち上がる事が決定しました。その名も「SaruBerryFarm株式会社（サルベリーファーム株式会社）」。

令和8年度からは、役場主体でのプロジェクトではなくなりますが、SaruBerryFarm株式会社と協力し、地域産業の一つとして定着することを目指して猿払村の夏いちごを盛り上げていきたいと思ひます。

～ SaruBerryFarm 株式会社の新社長から一言～



今回、猿払村役場から夏いちごプロジェクトを引き継ぎ、SaruBerryFarm 株式会社を立ち上げた猿払鮭鱒漁業株式会社の永井 英俊さんにもお話をお伺いしました。「今まで役場で行われていたプロジェクトを引き継ぎ、現場も大変なのですが、まずはとにかく楽しむというスタンスを忘れずに山田夫婦には活動してほしい」と現場へのエールをいただきました。

今年度もいちご狩り体験会や見学会、夏いちご収穫祭などのイベント販売を企画しておりますので、これからも皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。

今後とも SaruBerryFarm 株式会社をよろしくお祈いします！

日々の栽培の様子やイベント等の情報はインスタグラムで発信しているので、ぜひチェックしてください！！

お問合せもこちらから↓

～ SaruBerryFarm 株式会社に入れた想い～

こちらの「SaruBerryFarm 株式会社」ですが、猿払村でゆくゆくはいちごだけでなく、施設園芸の果実・野菜栽培が発展していった欲しいとの想いから「猿払村」+「いちごを含めたベリー類」+「農園」という意味が込められています。

これからの猿払産夏いちご栽培といちごに関するイベントは、元地域おこし協力隊の山田夫婦が引き続き精力的に活動していく予定です。「いつか猿払村でとれたいちごを使って古民家カフェのようなログハウスでいちごパフェやいちごミルクなどのスイーツをふるまえるようにできたらうれしい」と、これからの意気込みを明るく語っていただきました。

